



新任常勤医師の紹介

今年度の4月より、新しい常勤医師として2名の医師を迎えました。

小湊 雄史 医師 〈内科医〉

- ① 昭和大学医学部(平成30年卒)
- ② 千葉大学医学部付属病院 消化器内科
- ③ 予防医療ならびに早期発見こそが一番の“治療”であることを受診者の方にも伝わるよう日々診察に邁進させていただきます

加藤 仁美 医師 〈放射線科医〉

- ① 東邦大学医学部(平成20年卒)
- ② 順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線科
- ③ 画像診断を通して皆様の健康の一助となれるよう日々努めていきたいと思ひます

- ① 出身大学
- ② 前職
- ③ 医師より一言

「人間ドック・健康診断での適正な中性脂肪判定のための検査前食事時間の調査」

〈はじめに〉

2024 年、厚生労働省による第 4 期特定健診・特定保健指導の見直しにより、食事の影響を大きく受ける中性脂肪 に「随時中性脂肪」が追加されました。「空腹時」は食後 10 時間以上、「随時」は 10 時間未満と定義されており、人間ドックや健診における最終食事時間の確認がこれまで以上に重要となっています。

しかし、受診者の最終食事時間の実態や、その影響への認識は不明な点が多いため、調査を実施しました。

〈調査方法〉

2023 年 1 月末の 4 日間に、人間ドックと定期健康診断を受診した方を対象に、無記名でのアンケート調査を行い、『①食事時間が検査に与える影響を知っているか』『②随時中性脂肪の基準値の変更を知っているか』『③最終食事からの経過時間』を調査しました。前提として、当院では受診前の飲食の注意事項として、午前受診の方は前日の午後 8 時まで午後受診の方は当日の朝 7 時までに済ませるようご案内しています。

〈結果〉

① 食事時間が検査に与える影響の認識

定期健診・人間ドックいずれの受診者も、大多数が食事時間が検査結果に影響することを理解していました。ただし、人間ドック受診者の方が「知らない」と回答した割合はやや高めでした。

② 基準値の変更の認知度

随時中性脂肪の基準値変更について「知らない」との回答が大部分を占めました。

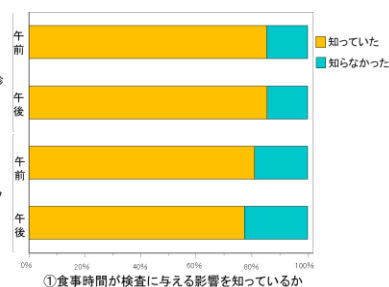
③ 最終食事からの経過時間

午前受診者にも、食後 10 時間未満の方が一定数存在。午後受診者では朝 7 時までには食事を済ませよう案内していますが、やはり 10 時間未満の受診者が増加。一方で、10 時間以上経過している方も多くみられました。また、定期健康診断の中には、中性脂肪の測定が不適切とされる食後 3.5 時間未満の受診者も確認されました。

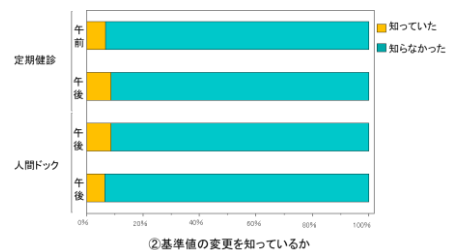
〈結論〉

人間ドックと定期健康診断の受診者共に大部分が食事時間の与える影響を知っていましたが、随時中性脂肪の変更については知りませんでした。健診の種類や時間帯にかかわらず最終食事時間が 10 時間未満の受診者が存在するため、適正な中性脂肪の判定には直前の問診による確認が重要であると考えます。

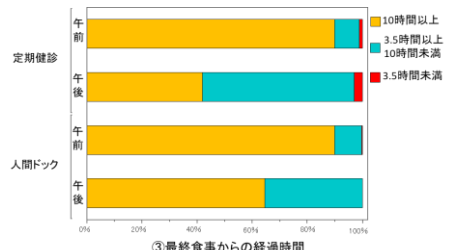
検査部 前場 紀代美



①食事時間が検査に与える影響を知っているか



②基準値の変更を知っているか



③最終食事からの経過時間

医療連携病院紹介 ～埼玉県立がんセンター～

埼玉県立がんセンターは、がん治療を専門的に担う県直轄運営の病院として昭和 50 年に伊奈町に開院しました。これまで埼玉県のがん診療のリーダーとして牽引する気持ちで頑張り、今年が開院して 50 年の節目の年となります。なお、令和 3 年度からは病院の経営形態が県の直営からより柔軟性の高い地方独立行政法人へと変わり、最先端の高度がん治療を行う医療機関として皆様の期待に応えるべく日々活動しています。科学的根拠に基づいた抗がん剤治療、ロボット支援下手術に代表される低侵襲な鏡視下手術、機能温存を考慮した拡大切除再建手術、強度変調放射線治療、各種治験へ参加したエビデンスづくり、がんゲノム診断や治療などを行っていることが当院の特徴といえます。一方で、患者様が受診してから治療が終わるまでの間、一貫した支援を充実させてやさしい医療を展開することを目標としています。また、県内唯一の都道府県がん診療連携拠点病院※1として、がん患者様への正確ながん情報の提供、仕事と治療の両立支援のサポート、がん相談をどなたからも無料で受けよう業務も行っています。特に、今年度は初診の患者様を待たせないような予約体制の強化を図りました。また、当院受診前に診ていただいていた疾患は、速やかにもとの先生方のところで診ていただけるような、地域全体で患者様の健康を守り支えるといった形を進めています。

大宮シティクリニックからは、毎年 20 例程度の患者様をご紹介いただいています。紹介いただいている診療科先は、乳腺外科、消化器内科、婦人科、呼吸器内科などですが、今回は呼吸器内科の紹介をさせていただきたいと思ひます。

呼吸器内科では、肺がんをはじめとする呼吸器悪性疾患に対して、地域に根ざした診療を大切にしています。初めての受診には、できるだけ早く対応できるよう、原則 1 週間以内の診察を心がけております。また、健診で異常を指摘された方の精密検査などにも積極的に対応しています。治療方針は、呼吸器外科や放射線治療の専門医などと連携し、チームで話し合いながら患者様にとって最も適した治療と一緒に考えます。当科の特徴は、標準的な治療だけでなく、新しい薬の臨床試験（治験）など、最先端の医療にも積極的に取り組んでいる点です。2024 年には約 200 人の患者様に対して、分子標的薬※2や免疫療法、抗がん剤と放射線を組み合わせた治療など、さまざまな治療を行いました。患者様やご家族の不安に寄り添いながら、質の高い医療を提供できるよう、地域の医療機関とも連携しながら日々努めております。ご不安なことやご質問があれば、どうぞ遠慮なくご相談ください。

※1 都道府県内でがん診療の中心的役割を果たすよう厚生労働大臣が指定した病院のこと。(原則各都道府県につき 1 か所)

※2 病気を引き起こす原因となる分子を標的にして、その働きを阻害したり、異常な細胞の増殖を抑えたりする薬



健康相談室だよりは当クリニックホームページにも掲載しております。バックナンバーもご覧いただけます。
ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくご連絡ください
ホームページ URL : <https://www.omiyacityclinic.com/>
ご意見・ご感想 : sodan@omiyacityclinic.com

健康相談室

